

3. 鳥浜貝塚 & 三方湖 周辺の写真



三方駅の北側 田園地帯の向こうに広がる三方湖 かつては 駅のある傾斜地の下まで古三方湖が広がっていた



三方駅の北側 三方湖との間に広がる田園地帯 2008. 8. 5.



鳥浜貝塚遺跡とその背後を東西に伸びる椎山丘陵 【1】 鳥浜遺跡の西南側 南北に流れる蓮川の土手より
この一帯は 縄文草創期・前期 北に広がる三方湖が広がる湖畔



遺跡の西側
はす川と背後東西に続く丘陵地



遺跡の東側 (1)
丘陵先端の西側 高瀬川沿い



遺跡の東側 (2)
丘陵先端の東側 蓮川 三方湖方面

鳥浜貝塚遺跡とその背後を東西に伸びる椎山丘陵 [2] 2008. 8. 5.



古三方湖に突き出た半島の先端部 縄文章創期・前期の縄文遺跡 鳥浜貝塚遺跡 2008.8.5.

鳥 浜 貝 塚 (縄文人のタイムカプセル)

鳥浜貝塚は、三方湖に注ぐ鱒川と高瀬川との合流点の川床(東西約100m、南北約50mの範囲)を中心に拡がりをもち5,000年から6,000年前ごろの縄文時代前期の時期を主体とし、12,000年前ごろの縄文時代草創期までの遺物が出土する日本最古の低湿地遺跡です。

当時の人々は、現在地北側の愛宕山の丘陵(当時は、湖に突き出た岬でした。)の先端に堅穴式住居を構え生活していました。縄文時代前期の時期には、食糧とした貝類、獣骨、木の実あるいは生活用具の土器、石器、木製品などが海拔0mからマイナス4m付近の湖の岸辺に長期間捨てられ、これらが堆積し貝塚が形成されました。このため、全国の多くの遺跡では腐食してしまう貴重な植物性遺物などが水中の地下深くに保存されています。

1962年から85年までの10次にわたる発掘調査では、今までの定説をくつがえした日本最古の赤漆塗り櫛、石斧の柄、編物、縄やヒョウタン、リョクトウの栽培植物など多種類の貴重な遺物が多量に出土しています。これらの遺物の発見は、考古学分野と動物骨、植物種子、木材、火山灰、花粉、年代測定、糞石などの自然科学分野の研究者が発掘調査に参加し、総合的に研究がすすめられたことによる成果といえます。

若狭町教育委員会

鳥浜貝塚出土の主な生活遺物

遺物名	器	種
縄文土器	器 形 深鉢形・浅鉢形・高家土器・丹彩土器	
型 式	草創期(陸奥文・爪形文・多縄文系土器)、早期(押型文土器)、前期(羽島下層II式・北白川下層I式・北白川下層IIa式・北白川下層IIb式・北白川下層IIc式土器など)	
狩 猟 具	石銃・丸木弓・木製矢羽	
漁 撈 具	骨製サス・石銃・土器片鏝・クモ	
運 搬 具	丸木舟・櫂	
加 工 具	石皿・磨石類・石錐・石匙・骨形石器・磨製石斧・硝石・軽石石器・石斧の柄	
日 用 工 芸 品	骨製針・木製容器・編物・糸・紐・縄・網	
装 飾 品	骨製聖飾・骨製垂れ飾・漆塗り櫛・块状耳飾・貝輪・真珠	

鳥浜貝塚出土の主な動物・植物遺体

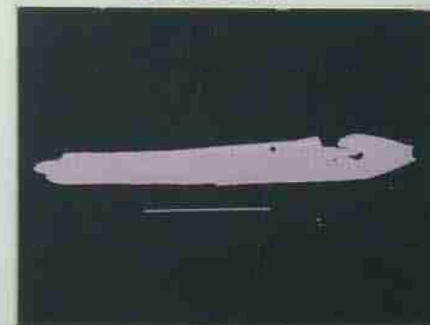
種 類	品 種 名
魚 類	(淡 水 魚) コイ科・ナマズ・キキ・バス
	(海 水 魚) ブリ・マグロ・カツオ・クロダイ・フグ科・サメ・ウシサワラ
貝 類	(淡 水 産) カラスガイ・イシガイ・トンガリササノハ・マツカサガイ・オオタニシ・ヒメタニシ・カワニナ
	(汽 水 産) ヤマトシジミ
哺乳動物	(海 水 産) マガキ・ハマグリ・ササエ・テングニシ・コシダカガンガラ・ツメタガイ・ネトセボラ・レイシ・イシダタミ・マクラガイ・オオヘビガイ・クボガイ
	(陸 産 畜) イノシシ・ホンシユウジカ・ニホンカモシカ
鳥 類	(野 性 食 用 植 物) スダシイ・ドングリ類(アカガシ・ウラジロガシ・アラカシ)・オニグルミ・クリ・カヤ・トチノキ・ヤマグルウ・ムクロシ・ブドウ属・マタタビ・ヤマボウシ・ユリ科球根・クサイチゴ・ナワシロイチゴ・ヒシ
	(飼 料 植 物) ヒョウタン・リョクトウ・シソ・エゴマ・ケツルアスキ・ウリ科・アブラナ科・ゴボウ・カシノキ・アサ



発掘調査の状況 住居跡など遺構の検出
第9次調査(1984年)



石斧柄・櫂・鹿角などの遺物出土状況
第9次調査(1984年)



第1号丸木舟 現存長6.08m、最大幅(舟尾部)0.63m、最大内深(舟尾部)0.21m
第6次調査(1981年)出土



若狭 三方五湖「三方湖」の夏【1】 2008.8.5.



若狭 三方五湖「三方湖」の夏【2】 2008.8.5.



高瀬川と蓮川の合流点鳥浜周辺（中央）突き出た丘陵地の西（左）と東 蓮川（右）



蓮川が三方湖に注ぎ込む河口にある若狭三方縄文博物館

2008. 8. 5.